

# はだの 農業委員会だより

第116号  
平成25年3月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp



## イチゴで笑顔に！

### イチゴ狩り観光農園

秦野市内では現在3ヶ所の農園でイチゴ狩りが楽しめます。

週末になると多くの来園者で大賑わいです。

ハウス内には甘〜い香りが広がり、来園者は様々な種類のイチゴを楽しみながらたくさんのイチゴを頬張っていました。

#### おもな内容

■ 平成24年度神奈川県農業委員大会 他	2
■ 支援センター通信	3
■ 特集 鳥獣被害防止対策	4
■ 農業委員紹介	5

■ 農家の声	6
■ 相談コーナー 他	7
■ カメラスケッチ 他	8

平成24年度神奈川県農業委員会大会が11月9日に海老名市文化会館で開催され、秦野市の農業委員19名含む約750名が出席しました。



議長を務める和田総会長（右）

平成24年度

## 神奈川県農業委員大会

農業振興に係る緊急課題に関する要望など4議案を決議

情勢報告として「かながわ女性農業委員の会」を紹介

大会では、「第1号 本県農業の振興に係る緊急課題に関する要望」、「第2号 農地の保全・有効利用に関する要望」、「第3号 担い手・経営対策に関する要望」、「第4号 農業委員会活動の強化に関する申し合わせ」の4議案が原案通り決議され、大会宣言では満場の拍手をもって採択されました。

また、情勢報告として10月31日に発足した「かながわ女性農業委員の会」の紹介がありました。農業就業人口の約5割は女性が占めており、女性の視点から問題提起をして頂き、農業委員会の活性化を図って頂ければと期待を寄せます。(伊藤 伸一 農業委員)



壇上で紹介される女性農業委員たち  
(左から清水富美子委員と久保寺則子委員)

### 中地方農業委員会連合会視察研修 6次産業化の取り組みを視察

平成24年11月19日、中地方農業委員会連合会主催の優良事例視察研修会に、秦野市農業委員10名を含め総勢67名が参加しました。視察先は、横浜市戸塚区にある(有)ハム工房「まいおか」とJ・Aさがみフアーマーズマーケット「わいわい市藤沢店」の2施設です。

業で、北見信幸代表取締役自ら施設の概要などを説明して頂き、参加者は、皆熱心にメモをしたり、質問をしていました。また、ハム工房で使用されている豚を育てている(有)北見畜産(北見信幸代表)は、畜産大賞(社団法人中央畜産



会)「地域振興部門・優秀賞」、農林水産祭・村づくり部門「農林水産大臣賞」を受賞するなど優良企業とのことでした。残念ながら、今回は養豚場内の視察はできませんでしたが、豚舎を色々と工夫しているとのことでした。

昼食後に訪れた「わいわい市藤沢店」は、神奈川県及び藤沢市の補助を受け、平成22年に開設したとのこと。店員36名(職員6名、パート30名)で運営しており、敷地面積約600㎡、売り場面積500㎡で駐車台数は約130台の駐車場を有する地産地消の施設です。漁港が最寄りにあるため、江の島・片瀬漁協による魚介類も販売しているということが印象的でした。(高橋 謙一 農業委員)



「わいわい市」を視察する和田総会長(右から2人目)

ご協力ありがとうございます

967,500円

賛助会員費募金額



1,935農家の皆様にご賛同いただきました。県農業会議では、この貴重な財源を次の事業などに活用します。

- ★県農林業施策と予算についての建議
- ★税制対策と経営改善支援
- ★都市農政対策の実施
- ★農業生産指導対策
- ★農政情報活動
- ★各生産組合の地域
- ★農政活動への助成



黒岩知事へ建議する  
神奈川県農業会議、三好会長



# 荒廃農地解消実践活動

## 優良農地を守るため

### 西大竹事業地

1月19日に、農業委員、荒廃農地解消市民ボランティアら23名が参加して、西大竹の約30aの畑で草刈りなどの解消作業を行いました。

この農地は、耕作放棄地となり周辺の農地に悪影響を及ぼしていました。

## 小学生と味噌づくり

2月17日に、荒廃農地解消市民ボランティア17人と地元小学生7人が東公民館で味噌づくりを行いました。

この味噌づくりには、荒廃農地を解消して栽培した大豆を使用しています。小学生たちはすくすく漬した大豆

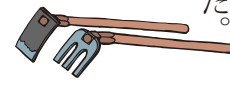


を空気が入らないよう熱心に容器に詰めていました。味噌が出来上がり、食べられるようになるのは今年の9月の末頃。小学生たちは出来上がりが待ち遠しい様子でした。



ボランティアの説明を聞きながら、真剣に作業を見守る小学生たち

参加したボランティアは、「優良な農地が広がっている地域に耕作放棄地があつてはならない。優良な農地を今後維持保全していく必要がある。」と話していました。解消した農地は、地元農家で管理した後、新規就農者の就農地となる予定です。



解消作業をする市民ボランティアと農業委員



## 未来の農業へつなぐ 市民農業塾

### 5人が秦野で新規就農

2月2日 JAはだの本所で、はだの都市農業支援センターが平成18年度から開講している「はだの市民農業塾」の閉講式が行われました。本年度は、新規就農コース、基礎セミナーコース及び、農産加工起業セミナーの3コースで37名の方が受講し、32名の方が修了されました。

新規就農コースを修了した5名は、新たに農業者の仲間入りをしますので、農家のみなさんよろしくご指導をお願いします。

## 新規就農コースの修了生紹介

**高橋 正雄**  
(就農予定地：西大竹地区)  
自分自身が、風景や作物の成長に喜びを感じることができる心の余裕を持ち、消費者にも喜んで頂ける野菜の生産に取り組みたい。

**地崎 利和**(就農予定地：堀西地区)  
自給自足、地産地消が目標です。食べて、おいしいと思える農作物を作りたい。

**安田 政敬**  
(就農予定地：上大槻地区)  
子供が未来を支える「社会の宝」であるなら、野菜は「大地の宝」です。この恵みを生かして、少しでも社会貢献したい。



**安加賀 桃子**(就農予定地：堀山下地区)  
美味しい野菜をたくさん食べて頂きたく、本格的に営農する決心をしました。消費者に喜ばれる「安心・安全」な野菜を作っていきたい。

応援よろしく  
お願いします

**農業塾講師 伊藤 隆弘**  
先生からひとこと  
農業は毎年の経験の蓄積が大切な財産。経験を生かした皆様の農業への取り組みが、秦野農業の活性化に貢献することを期待します。

**熊切 彰**  
(就農予定地：東田原地区)  
ご当地野菜の栽培をしたいです。自分で育てたブドウを使った秦野ワインにも挑戦したいです。

# 工夫次第で効果アップ！ 鳥獣害から農地を守ろう！



季節は春を迎え、耕起風景を目にすることも多くなりました。大変な農作業も収穫への期待があればこそ。せっかく丹精込めて育てた作物が一夜にして鳥獣に荒らされては、耕作意欲もなくなってしまいます。そこで、秦野市で鳥獣被害防止対策として主に行っている箱わなの設置のポイントと被害防止に工夫を重ねている生産組合の取り組みを紹介いたします。

## 設置場所と エサが決め手！ 箱わなの設置のポイント

箱わなは、法律の許可を取り、野生獣が集まりやすい場所に設置します。

また、捕獲の効率を良くするには、80%が箱わなの設置場所とエサだと言われています。

### ○設置場所について

設置場所は、良く出没する山に近い場所の獣道沿いに設置します。



### ○餌づけとエサの工夫

(ここが一番重要！)

餌づけを毎日継続し、餌場として認識させて警戒心を解くことが大切です。

エサは、米ぬかやサツマ芋、家畜用飼料など、腐りにくく手に入りやすいものを選ぶとともに、捕獲の対象とする獣の習性



に応じて、適量のエサを工夫してください。

箱わなは、すぐに扉を落とさず、餌づくのを待ってから、扉の固定の解除を行います。

### ○箱わなの定期的な確認

箱わなは、仕掛けなどを定期的に点検し、草刈り等の管理を行ってください。

お話を伺った鳥獣保護員の関野勝政さんは、「檻を設置したからといって、直ぐには、捕獲できないので、諦めずに根気よくエサをおいて待つことが大切。また、とにかく獣道沿いに設置し、きちんとエサを仕掛けることが、一番のポイントです。」と話していました。

## 防護ネットと 箱わなを一体利用 羽根中生産組合での取り組み

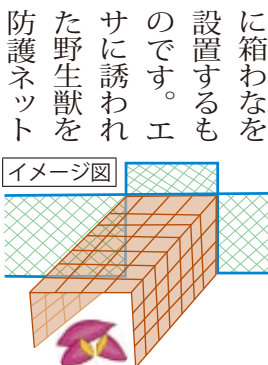
羽根中生産組合（関野定雄 生産組合長）では、防護ネットを利用した箱わな設置をしています。これまでに100kg級のイノシシが捕獲されるなど効果を上げています。

その設置方法は、ゴルフ場と農地の境に張った防護ネットの一部を開けて、その開口部

## 農作物の被害防止のためには、 農家の方々の取り組みが重要！ 今日からやってみよう 鳥獣害対策



- 被害を及ぼす鳥獣の性質をよく知ること
- 鳥獣のエサとなるので、農地周辺に雑草を繁茂させない
- 休耕した農地の周りのササ等を刈り荒廃化した場所を作らない
- 鳥獣を引き寄せる原因をなくす
  - ・収穫されない果樹や野菜を畑に放置しない
  - ・野菜くずや摘果果実、生ごみなどを農地とその周辺に捨てない
- 時には威嚇して、慣れを防ぐ
- 被害の少ない作目を選ぶ
- 鳥獣害対策は、地域ぐるみで取り組む



に箱わなを設置するものです。エサに誘われた野生獣を防護ネット沿いに移動させ、箱わなに誘導し捕獲するものです。

関野定雄生産組合長は、「防護ネットの効果もあると思うが、以前は、農地で獣の足跡などが多数確認されたが、現在は、少数だ。」と話していました。

また、設置場所は平らな場所を選び、箱わなの周りを力

やで目隠しをするなど、できるだけ自然な感じを出し、獣が箱わなに対しての警戒心を緩める工夫もしていました。



箱わなの前で説明する  
関野定雄生産組合長

# 農業委員紹介コーナー

高橋 謙二 (大根地区)



● 担当生産組合

南矢名上、南矢名下、北矢

名南、北矢名北

● 6月7日生まれ ふたご座

● 趣味 読書

● 主に作付している農産物

季節の露地野菜

● ひごとく

農業とは全く違う業種で

の現役も2年前に退き、家

内に教わりながら、日々農

業らしきものに悪戦苦闘し

ております。それ故に他の

農業委員の方との共通の話

題に乏しく、一日も早く仲

間に加わりたいと思ってい

ますが、残り少ない時間で

どうなることやら。

兎に角、一兵卒として頑

張っています。

小野 一夫 (西地区)



● 担当生産組合

峠、曲松1、曲松2、曲松

3、千村A、千村B、千村2、

千村3

● 7月18日生まれ かに座

● 趣味

庭木の手入れ、旅行、カラ

オケ

● 主に作付している農産物

一般野菜、稲

● ひごとく

荒廃農地の解消にはもっと

若い人の力が必要なので、農

機具を上手に使用して農業を

やってみられ

ば、発生防止に

もなると思う。



関野 進一 (西地区)



● 担当生産組合

渋沢下、渋沢中、渋沢上、

石打場、栃窪

● 7月23日生まれ しし座

● 趣味 登山

● 主に作付している農産物

みかん、栗、キウイフルー

ツ

● ひごとく

地域における農地・担い手

対策等を始め、農業の振興・

活性化に結び付くような情報

を提供したい。

石田 勇 (北地区)



● 担当生産組合

羽根東、羽根中、羽根西、

横野上、横野下

● 4月12日生まれ

おひつじ座

● 趣味

登山、読書(主として推理

小説)

● 主に作付している農産物

露地野菜、果樹

● ひごとく

農業を取り囲む環境は厳し

いものだ。少しでも解消され

るよう努力したい。

和田 稔 (上地区)



● 担当生産組合

柳川第1、柳川第2、八沢

第1、八沢第2

● 9月13日生まれ おとめ座

● 趣味

ウォーキング(最近さぼり

気味)

● 主に作付している農産物

バラ

● ひごとく

農業振興作物の生産の拡大  
や技術・品質の向上を地域の  
皆さんと目指していきたいと  
思います。

近藤 信一 (東地区)



● 担当生産組合

上宿上、上宿下、谷戸、池

端

● 7月7日生まれ かに座

● 趣味

手打ちソバ作り

● 主に作付している農産物

路地野菜、ソバ

● ひごとく

畑の雑草との戦いや鳥獣被

害など、農業には多くの苦勞

もありますが、天気の良い日

には、雄大な富士山が見え、

太陽の下、心

地よい汗をか

き、収穫を楽

しみ農作業に

励んでいます。



# 農家の声



## 農家に：

佐藤二三江（羽根）



私は主人と2人の子供との4人家族です。

農薬を使わない露地野菜栽培農家になって5年。農業なんて大変なことばかりで儲からない仕事をして生活できているのかとよく聞かれました。

地元農家の後継者でもなく、会社勤めを辞めた脱サラ農家、無農薬で野菜の栽培をやるなんて、訳のわからない奴がいるもんだと先輩農家さんと思われるでしょう。

15年前、食費の節約になればと何気なく始めたプラン

ターでの家庭菜園。おいしかった。収穫できる度、どんどん楽しくなっていきました。

それから3年。秦野市への転居を機に市民農園を借りたりして、野菜作りがなんとか形になり始めた頃、知人から野菜を譲ってくれないかと声をかけられ、喜んで食べてもらいうちに農業を仕事にする事はできないものかと思いはじめました。色々と問い合わせ

てみましたが、現実的にはとても難しかったです。そんな折、秦野市で取り組んでいた「はだの市民農業塾」を知り受講することになりました。

翌年には主人も修塾し、2人で農家の仲間入りが出来ることになりました。栽培技術の習得、農地の確保、販路、農業機械の導入、農業資材の購入など課題は沢山ありますが、「佐藤さんの作る野菜はおいしいよ。ニンジンが食べられるようになったよ。」という

声を聞く嬉しです。

私たちは、あんしん、おいしい、たのしい野菜をひとつでも多くの方に届けられるよう健康には気を付けながら二人三脚で野菜を栽培していきたいと思えます。天候に左右され、鳥獣に荒らされ自分たちの思う通りにはならないことが多いですが、ありのままを受け入れ無理をせず出来ることをひとつひとつ積み重ね、自分たちの農業を続けていきたいと大切に過ごしていきたいと思えます。

## 私と酪農

大津 俊彦（東田原）



昭和40年高校卒業と同時に農業を始めました。父が数10頭の牛を飼い、その他、普通作や花などの複合経営でした。

これからは専業農家の時代と思い酪農を専業でやっていたと決め、40頭位の牛舎を建て、ここから酪農経営の始まりです。

この時代は乳価が安く、借入金の返済などで生活は大変苦労しました。少しでも飼料代を安くするため、できるだけ飼料は自分で作り、草刈りと酪農の仕事に追われ大変な毎日でした。飼料作りの苦労を軽減するため、共同でサイロ作りもしました。

昭和48年頃から高度成長の波に乗り、食の欧米化に伴い乳価や牛肉の値上がりに伴い仔牛の値段も上がり、今から思えば良い時代でした。そしてこの頃から飼料作物作りを止めて、牛舎を増築し、乳牛を増頭し、購入飼料に依存し、労力の軽減を図り生活に余裕を持つようになり、酪農ヘルパーを頼み夫婦で交代で出かけるようになりました。

昭和54年頃から牛乳が生産過剰になり乳価は下がり牛乳の生産調整が始まり、テレビなどで牛乳を捨てる報道がさ

れたりすると、これからの酪農経営が不安になりました。そこで、牛乳を利用して加工品ができないかと思い、共同でアイスクリームの製造を始めた

ところ、大変好評で仲間の励みになりました。

近年、酪農家の高齢化や環境の問題などで廃業が著しく市内はもちろん、県下で毎年15軒位廃業しています。

最近では世界的な穀物不足や外国の牧草の不作により、資力の値段が上がりが経営を圧迫しています。また、飲用の多様化で若者の牛乳離れが多く、生産量は落ちてきているのに、需要が伸びず価格の値上げが難しいことに加えて、今、騒がれているTPPの問題があり、さらに経営が厳しくなるのではないかと思えます。

我が家では後継者に恵まれ、これからは家族皆で色々考え、この厳しい時代を乗り越え、良い牛乳の生産に努めていきたいと思えます。牛乳は健康に良いと言われています。ぜひ、子供たちはもちろん家族皆さんで飲んでください。



**Q**

農地には白地と青地があるそうですがどう違うのですか？

また宅地に切り替えるにはどれくらいの時間がかかりますか？

**A**

青地・白地というのは、市の農業振興地域整備計画における土地利用計画区分で、農業振興地域のうちの農用地区域が青地、農用地区域以外の農業振興地域が白地です。

都市計画における土地利用計画区分にも白地区域があるので、それと区別するために通常は「農振白地」という言い方をします。

農用地区域（青地）にある農地は、農地法の規定（第4条第2項第1号及び第5条第2項第1号）により、農地転用許可をすることができません。

## 選挙人名簿登載者数

「秦野市農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の集計結果をお知らせします。  
この登録者は3月31日に確定し、次年度まで据え置かれます。



(1月31日現在)

地区名	世帯数(戸)	男(人)	女(人)	計(人)
本町	98	130	112	242
南	162	200	151	351
東	255	280	227	507
北	218	258	246	504
大根	184	215	191	406
西	264	328	266	594
上	123	136	112	248
合計	1,304	1,547	1,305	2,852

## 農地の賃貸借料情報

平成24年1月から12月までに利用権設定された農地の賃貸借における平均的な賃料（10 a 当たり）は以下のとおりです。



区分	平均額	最高額	最低額	データ数
田	10,100円	11,100円	9,100円	2
畑	9,500円	17,600円	1,500円	100

\*農地の区分、平均額、最高額、最低額、データ数を賃貸借情報として提供します。（農業用施設農地は除く）  
\*データ数は、集計に用いた筆数です。  
\*平均的賃貸借料は四捨五入し百円単位にしています。

## 全国農業新聞



4月から送付形態が変更になります。  
ビニール包装から紙帯包装に！  
よりエコになってパワーアップします！

農家のための情報誌「全国農業新聞」  
・発行日 週1回（金曜日）  
・発行元 全国農業会議所  
・購読料 月600円（送料・税込）  
◎お申込みは、地元農業委員または、農業委員会事務局へ  
☎82-9654

## 農業委員会活動報告

（平成24年11月～25年2月）

- 総会  
11月26日、12月25日、  
1月25日、2月25日、  
（主な審議案件と件数は下表のとおり）
- 運営委員会  
11月22日、12月10日、  
1月15日、2月15日、  
編集委員会
- 1月25日、2月25日、  
● 神奈川県農業委員大会  
● 11月9日 海老名市文化会館  
● 中地方農業委員会連合会視察研修会

### 総会の主な審議案件と件数（11月～2月）

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸（3条許可）	6件	10,727.06㎡
市街化調整区域内の転用（4・5条許可）	8件	3,178.71㎡
市街化区域内の転用（4・5条届出）	65件	47,591.30㎡
相続等による農地の取得（3条届出）	43件	153,755.80㎡
相続税納税猶予	3件	27,617.42㎡

11月19日 横浜市(有)ハム工房「まいおか」藤沢市「わいわい市藤沢」

農業経営の効率化、収益増を目指して  
**秦野市認定農業者協議会 研修会**



秦野市認定農業者協議会（白井逸男会長）は、2月8日なでしこ会館で「秦野市認定農業者協議会研修会」を開催しました。研修会には会員ら17名が参加しました。

研修会では「農業経営のデータ化で効率化、収益増加を目指そう！」というテーマで、(株)流通研究所の釘持雅幸代表取締役による講演が行われました。

釘持氏は、「農業経営にも常にコスト意識をもって、収支を管理する必要がある。そ

れを実行するためには経費や年間のお金の流れをデータ化すれば、より効率の良い管理ができ、収益増加にもつながる。農家は数字に強くなるべきだ。」と話していました。

参加者は、実際に作物別の所得計算や資金繰り表の作成の実習を行うなどし、積極的に研修に取り組んでいました。

白井会長は「神奈川県内でもまだ、少ない認定農業者協議会ですが、秦野市が県内の先進事例になれるよう、頑張りたい。」と話していました。

**しっかり積立、安心して豊かな老後  
農業者年金に加入しませんか**

加入要件

- ① 60歳未満
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事



上記の3つの要件を満たす人は、誰でも加入できます。

農地を持っていない農業者、配偶者、後継者などの家族従事者も加入できます。

**POINT 1**

**保険料の国庫補助**

特定の要件を満たす農業者には、一定の条件下で保険料の国庫補助が受けられます。

**POINT 2**

**税制上の優遇措置**

- ① 支払う保険料は全額保険料控除の対象
- ② 受け取る年金は公的年金等控除が適用
- ③ 運用費も非課税

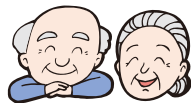
**POINT 3**

**80歳まで保証**

仮に加入者や受給者が80歳前に亡くなられた場合でも「死亡一時金」が支払われます。

■ 問い合わせ

農業委員会事務局 82-9654  
JAはだの営農課 81-7718



**カメラスケッチ**



**地産地消弁当を試食**

1月25日JAはだの本所で農業フォーラム2013が開かれました。秦野の農村レストラン実行委員会による「地産地消弁当」の試食会も行われました。



**幼稚園児が乳搾り体験**

2月26日秦野市酪農後継者の会「つくしんぼ」（白井史行会長）が、牛に触れ合える場を子どもたちに提供しようと、乳搾り体験を行いました。



編集後記

東日本大震災、福島原発事故から2年。自然災害、人災事故の爪跡はまだ生々しい。早期復興を願うと共に、秦野市もこの災害の脅威に向き合った対策が急がれる。

世界的異常気象、TPP問題、後継者不足等、農業を取り巻く環境は、益々厳しい。20年30年先を見越し、若い人が夢と希望を持って就農、生活設計ができるやりのある農業の仕組み作りが必要と思う。

「農業委員会だより」がその良き羅針盤となるよう読者とともに頑張っていきたい。

（編集委員 大津 繁）